

## 東村山市第2次生涯学習計画（案）の基本的な考え方に関する意見募集（パブリックコメント）の結果

1. 案件名	東村山市第2次生涯学習計画（案）	
2. 担当所管	(1) 名称	東村山市教育部社会教育課
	(2) 所在地	〒189-8501 東村山市本町 1-2-3 いきいきプラザ 4階
	(3) 電話番号	042-393-5111（代表） 内線 3515
3. 概要	(1) 意見募集期間	令和3年8月1日（日）～令和3年8月20日（金）
	(2) 周知方法	東村山市ホームページ、市報ひがしむらやま令和3年8月1日号、資料設置場所でのポスター掲示
	(3) 資料等の設置場所	本庁舎1階情報コーナー・いきいきプラザ1階総合相談窓口、いきいきプラザ4階社会教育課窓口、東村山駅西口地域サービス窓口、各公民館、中央図書館、富士見図書館、ふるさと歴史館、市民スポーツセンター、各ふれあいセンター、青葉地域センター、美住リサイクルショップ、社会福祉センター、子育て総合支援センター「ころころの森」
4. ご意見をお寄せいただいた人数	計2名（内訳：各施設での提出1名、郵送での提出0名、ファクシミリでの提出0名、電子メール提出1名、市ホームページでの提出0名、）	
5. お寄せいただいたご意見の数	5件	
6. お寄せいただいたご意見の内容と市の考え方	別紙のとおり（ご意見については、原文のまま記載）	

No.	ご意見	市の考え方
1	<p>共生社会の実現に向けた学習を推進するうえで③の課題と方向性についてです。娘が肢体不自由で重度の知的障害がありますが、余暇活動は保護者主体で動くことが多く、自立や社会参加へのハードルはまだまだ高く難しいのが現状です。保護者と介護者が共に連れてって出かけられる場所作り、例えば新しく工事されている東村山駅構内を集える場所・出会える場所づくりを提案します。ユニバーサルベットのあるトイレや食事形態を配慮している軽食を用意するなどスペース的にも大きい車イスが動けるスペースを用意するなど配慮していただきたいと思います。重度の方々が、出かけやすい事が大切なと思います。</p>	<p>すべての人に配慮した施設・設備等のハード面の整備が不可欠となりますことから、関係所管との連携を通し、今後、検討する際の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>どうしても生涯学習というイコール教育となり、教育委員会が関わられているかめの子学級のみにとどまってしまうのが残念です。というのは、市内には、イクシアもあるからです。知的・身体・多種多様な障害があります。どうか教育委員会と障害支援課のつながりをさらに強めていただき、連携していただくと、障害当事者の地域参画やニーズ等をより把握していただけるのではと思います。</p>	<p>多様な学習機会や地域参画のあり方などについて、関係所管との連携を通し、今後、検討する際の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>インクルーシブ遊具（障害の有無にかかわらず共に利用できる）のある公園も、より自然な形でさまざまな方が交流できる場所になると思います。</p>	<p>No. 1と同様、施設・設備等のハード面の整備について、関係所管との連携を通し、今後、検討する際の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>P18、P47 社会教育施設の整備について 東村山市の生涯学習の一層の充実に向けて重要な機関である図書館がよりよくなるように意見させていただきます。</p> <p>1.図書館の活性化希望 ・蔵書数や貸出数について 東村山市と近隣市を比較したところ、特に武蔵野市が一人当たりの図書貸出数がとても多かったです（参考をご参照） 図書館の取り組みで、もし武蔵野市に参考になるような良い点があれば、ぜひ参考にさせていただき蔵書数、貸出数を多くし、図書館を今より、より活気づけて</p>	<p>武蔵野プレイスは、居場所としても魅力的な施設であり、蔵書の充実だけでなく、多様な事業を行い、多摩地域でも先進的な図書館であることは認識しております。 東村山市立図書館においても、資料提供の充実は大切であると認識しており、各館で時機をとらえたテーマで展示を行うほか、生活情報コーナーや介護情報コーナーなど市民の課題解決に役立つ資料を紹介しております。 今後もいただいた意見も参考に引き続き図書館利用の活性化に取り組むとともに、読書環境の整備につきましても「東村山市公共施設再生計画」を踏まえ、関係所管との連携を通し、サービスの拡充や様々なスペ</p>

(=利用者をより増やす)、あらゆる年代が生涯学習できる場所とし提供いただけると幸いです。例えば武蔵野市では、技術書 (IT 関連) の入門書、起業時参考になる本 (ビジネス書) 等雑誌の種類が大変充実していました。

特に武蔵野市の武蔵野プレイスは、予約制学習スペース、カフェ、企業の打ち合わせスペース、地下にヤングアダルトコーナーとして学生用のライブスペース (音楽の練習所) があつたりと革新的でした。

武蔵野プレイスは指定管理者 (民間企業?) が運営している図書館である、人口構成 (若者が多い等) が東村山と異なる等、東村山市と状況が異なる点があるかもしれませんが、参考になればと思い、意見させていただきます

また、令和 2 年の市民意識調査の市の取り組み No.24 の「公共施設の再生の満足度」に対して、満足と回答されている方 20.8% でした。

難しいかもしれないのですが、可能でしたら、中央図書館以外もリニューアル等も検討いただけますと幸いです。

【数値】※以下に参考資料を記載しました。

<貸出数等>

・東村山市の蔵書数は約 708 千冊 (うち中央図書館は、195 千冊) であり、東村山市の個人貸出数は、約 1053 千点 (うち、中央図書館は、410 千点)。

・東村山市の人口は約 151 千人につき、東村山市の一人当たりの蔵書数は、4.6 冊、一人当たりの個人貸出数は約 6.9 点になるかと思えます。

・一方、人口数が近い近隣の武蔵野市は、蔵書数は 922 千冊 (うち、武蔵野プレイスは 180 千冊) であり、武蔵野市の個人貸出数は約 2572 千点 (うち、武蔵野プレイスは 1114 千点)。

・武蔵野市の人口は、約 145 千人につき、武蔵野市の一人当たりの蔵書数は 6.35 冊であり、一人当たりの個人貸出数は約 17.7 点となります

・公共図書館 (市区立) の平均と比較すると、公共図書館 (市区立) の一人当たりの蔵書数は、約 3 冊、個人貸出数は、約 5.33 点であり、東村山市は平均程度で

ースの確保など、各施設のさらなる利用拡充における質の高いサービス提供に向けた具体的な内容を検討させていただきます。

	<p>すので、特段、東村山市がよくないというわけではなく、武蔵野市が突出しているイメージでした。</p>	
5	<p><b>2.公共施設（図書館）へ行くための交通について</b></p> <p>東村山市の総人口に占める高齢者(65 歳以上)の割合は、2010 年は約 22.4% 2015 年は約 25.8% 2020 年は、約 27.9%となっており、増加傾向のようです。高齢者が増加している中、令和 2 年度市民意識調査結果では、東村山市の基本施策の「高齢者への医療、介護、社会参加への支援」について満足と回答した人が 27.4%となっているように見えます（参考資料ご参照）(市の取り組み NO.4)</p> <p>意識調査結果のコメントを確認すると、「公共施設等への移動が不便」等のコメントがありました。生涯学習ができる場所は、高齢者はじめ市民がより訪れやすい場所となっていくことを希望いたします。</p> <p>「公共施設への移動が不便」という課題は、図書館としては車いす利用者の高齢者等の日常範囲が広がるように「定期的な図書館までの移送」のサービスや、「公共施設までのバス等の交通網の拡充」が考えられますが、コストがかかるので厳しいのかもしれませんが。市内のバスを調べたところ、特に八坂方面⇔中央図書館や秋津図書館に行くのが不便かもしれないと思いました。</p> <p>参考ですが、図書館へ気軽に行けない方のために立川市では、「電子図書館」のサービスを始めたようで、おうちにいても、図書を PC で借用し、PC 上で見れるようでした。難しいかもしれませんが、そういったサービスも検討いただけますと幸いです。</p>	<p>移動手段に困難を要する方々のための公共施設等への移動については、他計画との関連性を図り、関係所管と情報を共有し、今後の市政に対するご意見として参考とさせていただきます。</p> <p>また、図書館においては、様々な事情で通常の開館日や開館時間に利用しづらい方々へのサービスについては、開館時間の拡大や図書館以外の場所での返却や予約資料の貸出ができるサービススポットの検討とともに、来館しなくても利用できる電子書籍などインターネットを活用したサービスについては、先行事例を研究し、効果的な導入について検討し、学習機会の提供や、多様な方法によって気軽にサービスを受けることができる学習機会のあり方など、「東村山市公共施設再生計画」の取組において検討させていただきます。</p>